東北学院大学
災害ボランティアステーション

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY Volunteer Station for Disaster

スタディバスツアー

新入生やボラステの活動に興味がある人等を対象とした被災地を巡る企画です。誰でも気軽に参加できます。

現地での定期活動

宮城県沿岸部を中心とした複数の地域で行う定期活動では、被災地のニーズに合わせた「息の長い」支援を目指しています。

東北学院大学
災害ボランティア
ステーション

シンポジウム

年に一度のボラステ主催のシンポジウム。全国の学生ボランティアや有識者が集い、交流。日頃の学びを共有し、自分たちのフィールドに持ち帰って活かします。

活動の振り返り

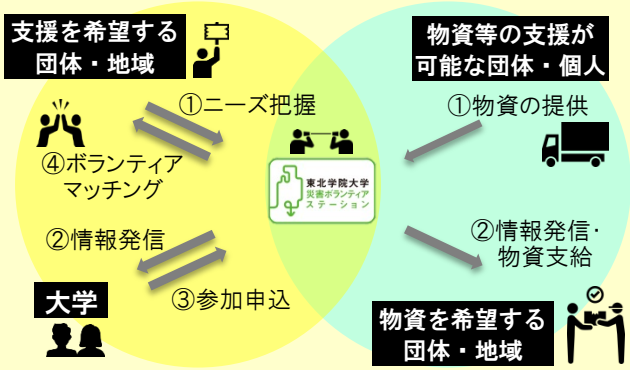
振り返りまでが活動のうち。ボラステ内にとどまらず、学生に開けた報告の場を設け、被災地の現状や私たち学生にできること考え、伝えています。

ボラステの役割

学生のボランティアマッチング等中継機能

2つの動き

❶ ボランティアを募集する地域や団体と活動したい学生をつなげること
❷ 支援物資を引き受け、支給すること



他大学との連携ネットワークづくり

3つの目的

❶ 全国の学生の復興活動を中継すること
❷ 地域間の連携で復興の輪を拡大すること
❸ 大学を超えて学生が協働・交流すること

全国に復興の輪を広げる

大学間連携
災害ボランティアネットワーク

本ネットワークは、復旧や復興における大学間連携の枠組みです。震災直後から他大学の支援をいただいた本学が、被災地域内の大学としてハブの機能を担い、現在 140 校以上のネットワークとなっています。

宮城県の大学が手を取り合う

復興大学
災害ボランティアステーション

本学は、宮城県の学生が積極的に関わるボランティアネットワークの代表大学でもあります。復興へかかわる気づき・きっかけの場として、様々な機会をセッティングしています。

ボラステの活動のねらい

東日本大震災の発災直後から現在まで災害･復興ボランティア活動に関わってきて9年が経ちました。今、被災地域の大きな課題の一つに、震災記憶の風化にともない潜在化しつつある**被災者の孤立**が挙げられます。これを防ぐためには、**被災地域住民が主体となったコミュニティ再生**が必要です。そのために私たちは**「息の長い、地域に根ざしたボランティア活動」**を行い、見えにくくなっていく各地域の対人支援に関わるニーズに対して住民同士や学生が可視化できるように、コミュニティを作っていくことを目指しています。また、一つでも多くの地域に対してコミュニティ再生の**輪を広げていく**ことも目指しています。

2020年3月現在、7つの地域で定期活動を展開しています。

定期活動地域ＭＡＰ

活動内容

活動早見マーク

交流　環境整備　農業

漁業　催事運営　学習

遊び　復旧

① 気仙沼市　住民交流支援

仮設住宅や復興公営住宅にて、除草作業や交流会企画。

震災から９年。仮設住宅から復興公営住宅への移転に伴い、活動先も内容も変化します。住民さんと信頼関係を大切に、全国の学生さんに被災地の現状を伝えます。

経済学部3年
佐藤　拓未

② 石巻市雄勝　園芸施設復旧支援

園芸施設にて施設移転作業補助やウニ祭り等催事運営補助。

雄勝に来るたびに訪れる場所になってほしいと思いながら活動しています。今後は復旧作業に加えて、より地域の方と関われる取り組みも実施したいです。

法学部3年
藤原　ちふみ

学生スタッフ代表からのメッセージ

現在、学生スタッフは全体で 68 名在籍しています。２つのキャンパスに分かれて在籍するため、うまく連携していくことも今期の目標の一つです。

住民の方のニーズに応えて活動することがボラステの活動の中で一番大切なことだと思います。ボラステが何かをやるのではなく、ボラステに求められていることに対して住民の方とともに何かを行っていこうということは、メンバーとも気にかけていることです。

活動の回数を重ねるたびに住民の方に顔や名前を憶えてもらえるようになり、今は住民さんとの関わりが楽しみで現地に行っています。そして、活動をより発展させて地域に貢献したいという思いを抱くようになりました。これには昨年２月に山元町の語り部親善大使に任命していただいたことが大きく影響しています。ボラステの活動以外で地域に関われる機会を得て、仲良くさせていただいている住民の方が山元町でも多くなるのに伴って、もっといろいろできるのではないかという思いが強くなりました。

被災地の活動にはニーズが減ったり変わったりして、幅を広げることや他大学と交流が難かしい面もある中で、ボラステがその動きを確立してボランティアを継続していることは本学の中でも珍しいと思います。それを一般の人にも知ってもらい、継続的に参加してもらえるように、やったことない人にとっても気を引けるような活動を展開したいと思っています。

経済学部3年生　松坂　東吾

③ 石巻市牡鹿　漁業・催事支援

殻こ刺しやワカメパック詰め等漁業支援や催事運営を補助。

企画を通して現地の方とたくさん交流しています。昨年はお祭りにも参加しました。現地の方からも「若い人と話せて楽しい」とのお声をいただいています。

工学部3年
根田 浩一郎

④ 七ヶ浜町　住民交流・催事支援

復興公営住宅にて交流会の企画や地域の催事運営補助。

住民さんの高齢化や減少等でうまく参加者が集まらない時もありますが、子どもとお年寄りを対象にわかりやすい企画をつくって参加者を募りたいです。

経済学部3年
松坂 東吾

⑤ 仙台市　住民交流支援

復興公営住宅にて住民交流会の企画・運営。

私たちが楽しんでいれば住民さんも楽しんでくださると思い、企画作りから楽しんでいます。住民さんと顔なじみになり、親しみもわいてとてもうれしいです。

教養学部3年
渡辺 菜月

⑥ 山元町　住民交流・催事・農業支援

桑茶作り等農業支援やマルシェ等住民交流イベントの運営補助。

山元町には若者が少なく、定期的に訪れる私たち学生は珍しい存在です。イベントに出展する等主体的に活動しつつ、魅力的な山元町の方々を広めたいです。

教養学部3年
佐藤 千咲

⑦ 丸森町　復旧・住民交流支援

地域復旧作業や子どもの居場所づくりの企画・運営。

僕たちは復旧作業は初めての経験でしたが、役に立てました。まだ人手が必要なので、ぜひいろんな学生さんに参加してほしいです。僕たちも継続して活動します。

経済学部3年
北嶋 航大
梅津 広大

東北学院大学　ミーティング

学生スタッフミーティングや教職員も含めた運営会議、所員会議。

学生スタッフミーティングでは、定期活動の報告や活動企画の打ち合わせ等を週１回行います。また、運営会議はリーダーと教職員とで月１回、所員会議は全体で年２回集まり、ボランティアの運営方針を決めます。

学生スタッフＯＢからのメッセージ

私は、中学生のときに東日本大震災を経験しました。それから大学入学後、特にやりたいことがなかったのですが、友人からの誘いで災害ボランティアステーションに入りました。

恥ずかしながら入部当初は主体的に動くこともあまりできず、自分自身震災は経験しているけど、自分にできることは何かと考えたことはありませんでした。しかし、何度も被災地に足を運び現状を知り、そこにいる人の声を聞き、共に歩むことで、本当の意味での「復興」に対して自分にできること、自分にしかできないことを考えながら活動するようになりました。

そこで、４年間の様々な活動を通しての気づきというのは、「ボランティア」と一言にいっても多種多様なニーズがあるということです。多種多様なニーズがあるということは、今まで以上に継続的な人と人との強い繋がりが必要であることを意味していると思います。そしてその継続的な繋がりには、「若い力」が必要不可欠であると気づくこともできました。

これから大学生活が始まる皆さんには、ぜひボランティアに関わってほしいと強く願っています。人間的に成長したい、誰かの役に立ちたい、大学生活を充実させたいなど、きっかけは人それぞれですが、それで構わないと思います。大切なのは一歩踏み出して新しいことに挑戦することだと思います。ぜひ災害ボランティステーションで活動してみてください。あなたの中で多くの成長ができると思います！

地方公務員　立花　亮人

ボラステ所長からのメッセージ

泉　正樹
（経済学部経済学科教授）

ボランティアは、無償性や自発性が伴うものとして一般に理解されていますが、このことがボランティアの敷居を逆に高くしているように思われます。

本ステーションは、上記のような固定観念にとらわれることなく、被災者の方々のニーズに応えることを第一と考え、学生が主体となって様々な災害ボランティア活動に取り組んできました。

これまで多くの先輩たちがつないできたボランティアのタスキを、皆さんにも是非引き継いでもらいたいと思います。

お問い合わせ先

東北学院大学災害ボランティアステーション

TEL ０２２-２６４-６５２１
（受付対応時間／平日１１：００～１６：３０）

E-mail tgvolu@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

@tgvolu（公式アカウント）
@volunteer_329（ボラステ広報部）

@gakuin.voulunteer.station（公式アカウント）

土樋キャンパス

〒980－8511 仙台市青葉区土樋１丁目３－１　７号館２階 725 教室
（東北学院大学地域共生推進機構、復興大学災害ボランティアステーションとオフィスを兼用）

泉キャンパス

〒981－3193 仙台市泉区天神沢２丁目 1-1 コミュニティセンター内
（東北学院大学生活協同組合隣に設置）

詳しくはこちら

東北学院大学災害ボランティアステーション
（復興大学災害ボランティアステーション）